

【広島市消費者物価指数】

1 平成22年8月の動向

- 広島市総合指数（99.6）は前月比で上昇。前年同月比は17か月連続で下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.4）は前月と同水準。前年同月比は17か月連続で下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（97.0）は前月比で3か月連続の下落。前年同月比は17か月連続で下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.6	0.2	▲1.3
生鮮食品を除く総合指数	99.4	0.0	▲1.4
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	97.0	▲0.1	▲1.9

3 前月からの動き

～食料，教養娯楽が上昇。住居，家具・家事用品は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.6	104.0	99.8	106.1	78.8	99.9	97.6	99.0	93.5	94.7	101.6
前月比 (%)	0.2	0.7	▲0.8	0.6	▲1.5	▲0.4	▲0.3	0.2	0.0	1.3	0.1
寄与度	0.2	0.19	▲0.15	0.04	▲0.04	▲0.02	▲0.01	0.03	0.00	0.13	0.01

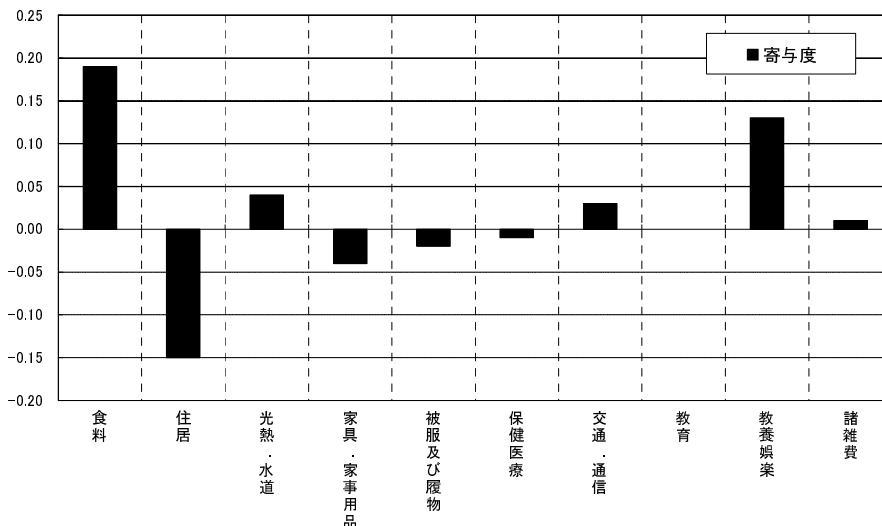
(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目

食 料 : 果 物 (前月比 13.2%，寄与度 0.11) 等

住 居 : 家 賃 (前月比▲0.8%，寄与度▲0.13) 等

教 養 娯 楽 : 教養娯楽サービス (前月比 2.1%，寄与度 0.13%)

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度: 物価全体 (総合) の上昇 (下落) に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前 (年同) 月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
教養娯楽サービス (宿泊料 等)	2.1%	家賃 (持家の帰属家賃[木造中住宅] 等)	▲0.8%
果物 (メロン 等)	13.2%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲4.5%
野菜・海藻 (レタス 等)	2.9%	シャツ・セーター類(婦人Tシャツ[半袖] 等)	▲2.3%
交通 (航空運賃 等)	1.6%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲0.3%
魚介類 (たい 等)	1.0%	調理食品 (冷凍調理コロッケ 等)	▲0.7%

4 前年同月からの動き

～教育、食料、家具・家事用品などが下落し17か月連続の下落。光熱・水道は上昇～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.3	▲1.0	▲0.5	1.8	▲8.6	▲2.0	▲0.3	0.4	▲11.8	▲1.6	0.3
寄与度	▲1.3	▲0.29	▲0.09	0.12	▲0.26	▲0.10	▲0.01	0.06	▲0.59	▲0.16	0.02

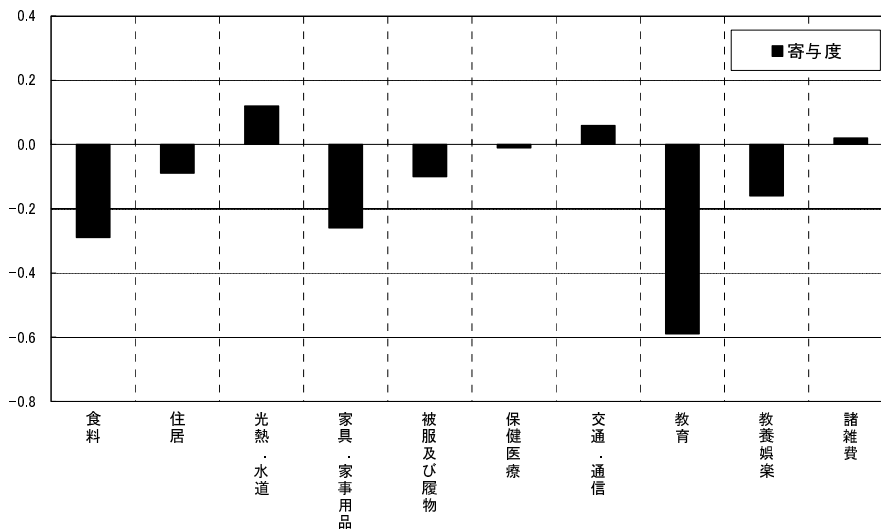
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

教 育：授業料 (前年同月比▲16.0%，寄与度▲0.58) 等

食 料：調理食品 (前年同月比▲3.8%，寄与度▲0.12) 等

家具・家事用品：家庭用耐久財 (前年同月比▲13.9%，寄与度▲0.09) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
ガス代 (都市ガス代 等)	4.6%	授業料等 (公立高校授業料 等)	▲16.0%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.1%	調理食品 (冷凍調理コロッケ 等)	▲3.8%
魚介類(いか 等)	3.0%	肉類 (牛肉[国産] 等)	▲4.2%
他の光熱 (灯油)	20.8%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲13.9%
果物 (もも 等)	4.6%	教養娯楽用品 (ペットフード[ドッグフード] 等)	▲4.2%